

2026年5月20日

[配信枚数2枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

株式会社レゾナック・ホールディングス ブランド・コミュニケーション部

報道関係者 各位

滋賀大学と株式会社レゾナックが連携協定を締結 ーデータサイエンス分野における産学連携の取組を推進ー

国立大学法人滋賀大学（滋賀県彦根市馬場1-1-1、以下「滋賀大学」）と株式会社レゾナック（東京都港区東新橋1-9-1、以下「レゾナック」）は、データサイエンス分野の技術力向上・人材育成を目的として、2026年5月28日に連携・協力に関する協定を締結いたします。

つきましては、下記日程にて協定締結発表会を開催いたします。

【協定締結発表会】

日時：2026年5月28日（木）11時00分～

会場：滋賀県庁3階 会見室（滋賀県大津市）

出席者：国立大学法人滋賀大学

学長 竹村 彰通

データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター 准教授 高柳 昌芳

株式会社レゾナック

執行役員 最高技術責任者（CTO） 福島 正人

計算情報科学研究センター プリンシパル 田中 直敬

【概要】

レゾナックは、日本を代表する「機能性化学」のグローバル企業であり、半導体・電子材料を中心に、幅広い分野で事業を展開し、滋賀県の彦根事業所をはじめ、国内外に多数の生産拠点を有しています。同社では、材料開発における計算科学やAIの活用を積極的に推進しており、最終的には、現場の研究開発者が、空気のようにデータサイエンスを活用して材料開発を行う姿を目指しています。

本協定では、同社の有する豊富な現場実績に裏打ちされたデータや技術基盤と、滋賀大学の先進的なデータサイエンスに関する知見や教育実績を融合し、データサイエンス分野における人材育成と課題解決に資する解析技術の構築を目指します。また、両者の連携拠点となる調査研究センターの設置等を含め、連携の可能性を広く検討してまいります。

《連携・協力事項》

- (1) ビッグデータ・オープンデータの利活用による、ビジネス分野における課題解決に資する共同研究、委託研究に関すること。
- (2) データサイエンス分野における課題解決及びそれに必要な解析技術の構築のため、相互に連携・協力して専門の調査研究センターを構築すること。
- (3) 講師派遣、インターンシップ受入、人材採用・育成等に関すること。
- (4) データサイエンス分野の社会人教育に関すること。

《ご参考》

レゾナックグループについて：

レゾナックは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ機能性化学メーカーです。2023年1月に昭和電工と旧日立化成が統合し、誕生しました。社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」の組み合わせです。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2025年度の売上高は約1兆3千億円、うち海外売上高が57%を占め、20以上の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2026年1月時点)。

(ウェブサイト：<https://www.resonac.com/jp>)

株式会社レゾナック・ホールディングス：

- 設立 1939年6月
- 資本金 182,146百万円(2025年12月31日現在)
- 代表者 代表取締役社長 高橋 秀仁
- 事業内容 半導体前工程材料、半導体後工程材料、ハードディスク、SiC、自動車部品、アルミ機能部材、基礎化学品、黒鉛電極、リチウムイオン電池材料、機能性化学品、樹脂材料、コーティング材料、セラミックス

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学研究・産学連携推進課 担当：吉永

TEL：0749-27-1279 E-mail：soc-coop@biwako.shiga-u.ac.jp

株式会社レゾナック・ホールディングス 担当：波多江

E-mail：pr_med@resonac.com